

5 都駒高第 1 1 5 5 号
令和 5 年 1 1 月 1 日
校 長 決 定

クラウドサービスの試行的運用について

保護者連絡用ツールとして、学校と保護者の双方向通信を可能とするクラウドサービスを試験的に運用し、その成果を検証したうえで、令和 6 年度からの本格運用を目指す。

1 目的

これまで紙媒体により行ってきた、保護者会や保護者向け進路講演会、宿泊を伴う学校行事や特別活動に関する参加・同意確認、就学支援金や私費管理に伴う事務等の保護者連絡について、クラウドサービスを運用することにより、即時性の向上とペーパーレス化を図る。

2 実施の概要

教職員すべてが利用できるものとし、生徒を経由して保護者に届けるすべてのお知らせや文書等の周知をクラウド上で行う。クラウド上にアップされた保護者宛ての文書等は、すでに運用を開始している Web アンケートシステムと同じ ID とパスワードで閲覧することができる。希望する保護者には、アップ時のお知らせメールを指定のアドレスに自動配信する。

3 期待できる効果

荒天に伴う始業終業時刻の繰り上げ繰り下げや休校等の措置、感染症に伴う学校閉鎖等の措置、学校行事や特別活動等の延期や中止等の措置など、時間的に差し迫ったお知らせを夜間・休日を問わず、TAIMS 端末や ICT 端末に抛らずとも、タイムリーに発出できることから、連絡の即時性・確実性が格段に向上する。また、通知等に要する紙の経費を A 4 判用紙換算で年間 2 1 万枚程度抑制できる見通しである。

4 実施計画

1 1 月から管理職発信の通知において運用を開始する。校内での周知を図るとともに、PTA 役員への周知も行う。年内には、各学年の保護者宛て通知、PTA 作成の文書等の発信にも試験的に運用する。2、3 月からは、令和 6 年度入学生保護者向け文書等の発信にも運用を拡大する。

	令和5年度					令和6年度
	令和5年		令和6年			4月
	11月	12月	1月	2月	3月	
						本格運用
管理職	試行					運用
各学年	周知期間	試行				
経営企画室	周知期間	試行				
各分掌	周知期間		試行			
駒79			周知期間	試行		
PTA	周知期間	試行				

5 セキュリティ

すでに利用しているWebアンケートシステムは、これから利用しようとするクラウドサービスの機能の一部である。したがって、セキュリティポリシーは、令和5年6月19日付5都駒高第562号「これからの教育活動について」及び令和5年7月3日付5都駒高第629号「Webアンケート調査の実施について」により保護者宛てに通知したとおりである。

- (1) 個人を特定するための情報(学年・クラス・出席番号)はクラウド上に蓄積するが、暗号化した上で適切に管理することになっている。使用するデータセンターは日本国内に設置されており、規格Tier4に格付けされている。
- (2) クラウドサービスの利用に当たっては、東京都サイバーセキュリティポリシー及び同対策基準、東京都立駒場高等学校情報セキュリティ対策基準に則り、安全に管理することとしている。

委託事業者によるクラウドサービスである。事業者には氏名等の個人情報提供しない。

6 検証

運用を停止せず、検証を行っていく。11月から12月にかけての試験的運用の結果を対象に検証を行い、問題がなければ、令和6年度入学生保護者への案内の準備を始める。

7 その他

- (1) 本サービスの利用は時限的なものである。概ね5年後には都教育委員会が構築している校務支援サービス(庶務事務システムやC4th等)のプラットフォームに新たな機能して追加される見込みである。
- (2) 実施計画については、状況に応じて随時修正を行うものとする。